

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-
		スーパー（企画担当）	・国慶節などでインバウンド需要が見込める。
		スーパー（販売企画）	・競合店の新規出店が一巡したことや、当社会員へのポイント販促の効果も出ていると感じられるので、良くなるとみられる。
		コンビニ（経営者）	・近隣にホテルが増えたので、来客数も増えてきている。
		衣料品専門店（経営者）	・来月には梅雨も明けけるであろうし、イベントもあり、学校も夏休みに入るので回復が見込める。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・高校総体の関係で先行受注が前年比110%と好調に推移している。
		百貨店（店舗企画）	・インバウンド客の影響がどれだけあるか予想はつかないが、競合他店オープンの影響も受けると予測し、厳しい状況は続くものとみられる。
		コンビニ（代表者）	・大型ショッピングセンター開業やコンビニエンスストアチェーンの進出により県内流通業の厳しさは一層増すが、県内景気の好調は続くものと判断する。
		衣料品専門店（経営者）	・今月は、近隣に大型ショッピングセンター開店等があり、期待から買い控えがあったようにみられる。また、他の大型店舗も前倒しでセールをしており、プロパー商品の売上が芳しくない。当店セールでの売上もさほど上がらない状態で、来月以降は心配である。景気が好転するかはまだまだ分からない。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測できる今後2～3か月先の客室稼働率は、今月と変わらず前年実績に対してマイナスとなる見込みである。
		旅行代理店（マネージャー）	・夏休みの問合せが、例年に比べて出足が遅い感じがする。
		住宅販売会社（代表取締役）	・民間戸建て住宅や米国軍人軍属向け賃貸住宅、コンドミニアムなどの投資案件をバランスよく受注できている。また、3月の消費税増税前の駆け込み契約の反動の影響が薄れつつあり、数件の請負契約前の案件を抱えている。
		住宅販売会社（営業担当）	・住宅展示場への来場組数は前月比、前年同月比共減少したが、住宅計画の相談者数は変わらない。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・大型ショッピングモールが開業し、どれほど影響があるか分からないが、しばらくは客数が減るのではないかとみている。
	観光型ホテル（代表取締役）	・この夏の宿泊予約数の動きが悪い。同業者に聞いても同じである。業界現場からは、長いゴールデンウィークで出費がかさんだのでは、との回答があった。	
	観光名所（職員）	・予約状況が悪い。	
	×	商店街（代表者）	・飲食関係の店舗が多くなり、お互い足の引っ張り合いをしているように感じている。物販や衣料の個店は、今後大型店の値下げには太刀打ちできず、客を持っていかれるとみられる。いつ閉店するかというところまで危機感を持って商売しているところも結構あるようである。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・大型商業施設のオープンと大手コンビニの進出で、一時的ではあるが時給が1,800円まで上がってきていて、採用をかけても900円では全く採れない状態である。また、調理技術者の引き抜き合いが激化している。建築関連業者も忙しくて、店舗の補修や修理を依頼してもできない状態が続いている。営業に支障が出て、機会損失を起こしている。
	×	通信会社（営業担当）	・10月からの新規参入や、電気通信事業法の改正により他キャリアへの流出が予想され、今後厳しい状況が続くとみられる。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-
		建設業（経営者）	・今月に入り、少しずつ引き合い件数が増えている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・民間工事は順調に続く見込みである。
		輸送業（代表者）	・先島はホテルや量販店等の民需や、港湾、道路の官需も増勢で、特に宮古島は陸上自衛隊関連の建設工事もピークとなっている。基地建設優先で製品出荷が減らされている砕石については、積出岸壁が混雑し、先島向け出荷の更なる弊害となっている。

	輸送業（経営企画室）	・取引先の競合が沖縄進出することによる相対的な売上減が予測されるが、それに伴い新規業務の発生もあるため、横ばいになるのではないかとみられる。
	広告代理店（営業担当）	・県内企業の広告販促活動は、県内テレビ局や新聞社の広告出稿額をみると、微減傾向にあるように感じられる。一方でインターネット広告などのデジタルマーケティングコストは増加傾向にあるものの、全体としては縮小傾向にあり、先行きは不透明ながら厳しい状況が続くものとみられる。
	-	-
	x	-
雇用 関連 (沖縄)	-	-
	学校[大学]（就職支援担当）	・学生の夏休みを利用した沖縄県内の新卒求人、新卒学生就職活動が本格化する。
	人材派遣会社（経営者）	・現在はある程度好調だが、このまま続くかは不透明である。派遣分野では求人難ということもあり、求職者のモラル等、懸念される事態が多くなっているように感じるので、派遣の数字につながるかも微妙である。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・7～8月の求人数は増加する。
	学校[専門学校]（就職担当）	・専門学生の就職活動は例年どおり推移している。4～6月は県外就職組で、7月以降は県内就職組の動きが活発になる。
	求人情報誌製作会社（編集室）	・毎年8月は求人件数が減少する。今年は大型商業施設のオープンもあり、一部のテナント店舗や関連企業の求人の依頼はあるとみられるが、季節的な減少を埋めるほどの件数は見込めない。
	x	-